

MIYAVI がテーマソングを初披露！国連本部 DDR にて、国連を支える世界子ども未来会議～プロジェクト発表イベント in New York～が開催

7月19日、米ニューヨークの国連本部 DDR で、一般財団法人ピースコミュニケーション財団が「国連を支える世界子ども未来会議～プロジェクト発表イベント in New York～（The Children's Conference of the Future in Support of the United Nations ～Project Launch Event in New York～）」を開催しました。



今回の国連本部でのイベントは 2 部制で行われ、第 1 部の「国連本部セレモニー」では、国際連合日本政府代表部中川周公使立ち合いのもと、日本から来たキッズアンバサダーより 3 月に開催した「第 3 回国連を支える世界子ども未来会議」の議論の結論をまとめたアイデアブックを国連本部グローバルコミュニケーション局アウトリーチ部のヴィンチェンツォ・ブグリエーゼさんに提出しました。加えてグテーレス事務総長への親書とイラストレーター田村大さんが描いたグテーレス事務総長のイラスト、そして日本からのおみやげとして、本プロジェクトに参加する企業のキャラクターのぬいぐるみと手ぬぐいが贈られました。また本会議で子どもたちが考えたアイデアについては、来年以降も国連本部に届けることを申し入れ、受諾されています。セレモニー後、キッズアンバサダーは国連本部内「Children's Corridor」でのツアーも実施していただきました。



第2部の「国連を支える世界こども未来会議～プロジェクト発表イベント in New York～」では、プロジェクト概要を発表し、キッズアンバサダー3名が「第3回国連を支える世界こども未来会議」で考えた平和実現に向けたアイデアの発表も行いました。これら発表の際には、本プロジェクトへ協賛している日本電信電話株式会社の渡邊淳司さんが、本会議で取り入れている「わたしたちのウェルビーイングカード」カリキュラムについてプレゼンテーションを行いました。カードは自分自身や周囲の人が「ウェルビーイング」に意識を向けて、対話を促すツールとして開発されたものです。このカードを使ったカリキュラムでは、こども向けの18種類の「思いやり」「自然とのつながり」といったウェルビーイングを表現するために必要な要素が記載されており、こどもたちはこれらのカードの中から、自分が生活する上で何を一番大事にしているか選び、理由とともに発表します。キッズアンバサダー3人が登壇し、実際に発表しました。また同様に、本会議でも取り入れている「心臓ピクニック」を使い、ニューヨークの会場にいるこどもと日本にいるこどもをオンラインでつなぎ、鼓動を光と振動で感じる遠隔触感コミュニケーション体験を実践しました。「心臓ピクニック」は聴診器と振動スピーカーがつながったもので、身体外部に鼓動を感じ取れるようにしたものです。



プロジェクト発表後の MIYAVI さんによるライブパフォーマンスでは、「Shape Of Future プロジェクト」と題したこどもたちの未来に向けた「声」を集めるプロジェクトをもとに MIYAVI さんが楽曲プロデュースで制作した「国連を支える世界こども未来会議」のテーマソング「That's What I'm Gonna Be」が初披露されました。演奏前に MIYAVI さんは「今まで以上に、こどもたちが自由に発言できて、自由に未来を語り合える場を作ることが大事だと感じています。この The Children's Conference of the Future in Support of the United Nations という日本で生まれたイベントは、そういったようにこどもたちが自由に発言し、つながることができる良い機会です。これを世界に広めていければと思います。僕自身も UNHCR の親善大使として、これまでケニアやコロンビア、バングラデシュ、タイ、レバノン、セルビアなどを訪れました。音楽で戦争を止めることはできないし、目の前にいるこどもにキャンディーをあげることもできない。それでも世界にメッセージを届けていくことで、少しでもこういった機会、人と人がつながるきっかけを作ることができる。僕たち大人も一人一人の役割を全うして、子どもたちにそのバトンを渡していきたい。そう信じて歌っています」と平和について語りました。MIYAVI さんとベース、パーカッションの演奏が始まると 21 人のこどもたちがステージに上がり、一人ずつ名前と将来の夢を発表。そして全員の発表の後、MIYAVI さんとこどもたちが一緒に歌い、手拍子でセッションをしました。



その後、ピースコミュニケーション財団代表理事の一木広治氏が登壇し、「2024 年 3 月に開催される国連を支える世界こども未来会議は、東京都共催のもと東京都庁大会議場で実施する予定です。参加者のこどもにとって、さまざまなことを学ぶ良い機会になればと思います」と発表。大阪・関西万博に向けて「本会議は 2025 年の万博で開催することを目指します。この万博に向けて、日本電信電話株式会社に協力いただき、メタバースプロジェクトをスタートします。メタバース上でも開催することで、世界のこども

たちがより集まれるようになり、多くの素晴らしいアイデアと交流が生まれることと思います。ご期待ください」と展望を語りました。

なお、この日のイベントには当プロジェクトを後援する外務省、東京都より林芳正外務大臣、小池百合子都知事からメッセージが、寄せられています。

◆「国連を支える世界子ども未来会議 ～プロジェクト発表イベント in New York～」開催概要

【イベントタイトル】国連を支える世界子ども未来会議 ～プロジェクト発表イベント in New York～

(The Children's Conference of the Future in Support of the United Nations

～Project Launch Event in New York～)

【開催日時】2023年7月19日(水) 第1部 13:30-15:05、第2部 18:00-19:10

【開催場所】New York 国連本部 DDR

【第2部出演者／登壇者】

＜プロジェクト発表＞ 一木広治（一般財団法人ピースコミュニケーション財団代表理事）、一木美里（株式会社 CiEI CEO）、渡邊淳司（日本電信電話株式会社上席特別研究員）、武井俊輔（外務副大臣）、松本好一郎（外務省地球規模総括課長）、キッズアンバサダー3名

＜ライブパフォーマンス＞ MIYAVI（アーティスト）、MIYAVI バンドメンバー Patrick Taylor（ベーシスト）Anthony Lopez（パーカッション）、子ども参加者たち

【主催】一般財団法人ピースコミュニケーション財団

【協力】日本電信電話株式会社、株式会社ロイヤリティマーケティング

【後援】外務省

◆MIYAVI さんプロフィール



エレクトリック・ギターをピックを使わずに全て指で弾くという独自の“スラップ奏法”でギタリストとして世界中から注目を集め、これまで約 30 カ国 380 公演以上のライブと共に、9 度のワールドツアーを成功させている。米国「ドジャースタジアム」での国歌演奏、「パリ・サン＝ジェルマン」来日時には新・国立競技場でのパフォーマンス、NBA「ゴールデンステイト・ウォリアーズ」への楽曲提供・ハーフタイムショー出演など、国内外問わず圧倒的なパフォーマンスを披露。音楽活動に限らず、アンジェリーナ・ジョリー監督の映画「Unbroken」にてハリウッドデビュー。ヨージヤマモト、Y-3 のモデルとしてパリコレのランウェイに出演、GUCCI グローバルコレクションの広告に日本人として初起用されるなど、俳優、モデルとしても活躍中。近年、DELL 社や McLaren の広告キャンペーンにも抜擢。2017 年より日本人初の UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）親善大使に就任。2022 年 11 月、YOSHIKI、HYDE、SUGIZO とスーパーバンド「THE LAST ROCKSTARS」結成を発表。常に世界に向けて挑戦を続ける“サムライ・ギタリスト”であり、今後もワールドワイドに活躍する最も期待のおける日本人アーティストの一人。

◆国連を支える世界こども未来会議について

世界のこどもたちが集まり、SDGs を軸に平和で豊かな世界について語り合うピースコミュニケーションの場として、2019 年に東京オリンピック・パラリンピック公認プログラムとしてスタート。以降、毎年開催し 2022 年度からは国内各地でも開催。現在は、こども家庭庁・外務省・東京都が後援し、2023 年 2 月には国連からタイトルの認定を受けている。

◆本イベントの問い合わせ先

一般財団法人ピースコミュニケーション財団

広報事務局 株式会社ヘッドライン

電話番号：03-5770-7161

担当：眞田 (rsanada@tokyoheadline.com)